

⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭63-190639

⑬ Int. Cl.

F 16 F 15/30
15/10

識別記号

庁内整理番号

E-6673-3J
A-6673-3J

⑭ 公開 昭和63年(1988)12月8日

審査請求 未請求 (全2頁)

⑮ 考案の名称 内燃機関の動力伝達装置

①

⑯ 実 願 昭62-81237

⑰ 出 願 昭62(1987)5月29日

⑱ 考 案 者 内 田 真 之 介 神奈川県横浜市神奈川区宝町2番地 日産自動車株式会社 内

⑲ 出 願 人 日産自動車株式会社 神奈川県横浜市神奈川区宝町2番地

⑳ 代 理 人 弁理士 笹島 富二雄

㉑ 実用新案登録請求の範囲

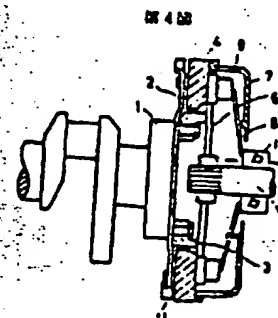
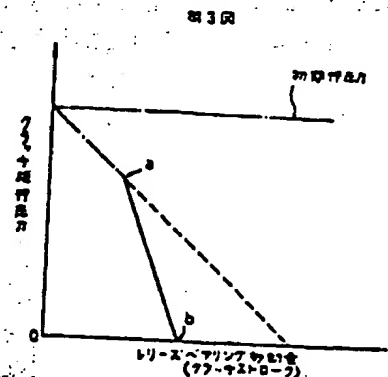
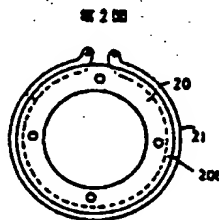
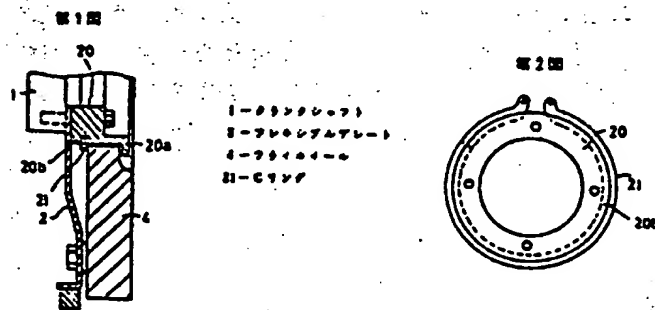
クランクシャフトに弾性部材を介して該クランクシャフトの軸に沿って移動自在に取り付けられたフライホイールと、前記クランクシャフトの軸と略同軸状に配設されたドライブシャフトと、該ドライブシャフトの軸に沿って移動自由に取り付けられ前記フライホイールのドライブシャフト側側壁と接離可能なクラッチ板と、前記フライホイールに取り付けられたクラッチカバと、該クラッチカバに支持され前記クラッチ板を前記フライホイール側壁に向けて押圧する押圧部材と、該押圧部材の押圧力を解除する操作部材と、を備えた内燃機関の動力伝達装置において、前記フライホイールのクランクシャフト側への移動を規制するス

トツバ部材を、前記フライホイールとの間に所定のクリアランスを持たせて設けたことを特徴とする内燃機関の動力伝達装置。

図面の簡単な説明

第1図は本考案の一実施例の要部断面図、第2図は同上のCリング取付状態図、第3図は同上の作用説明図、第4図は従来の内燃機関の動力伝達装置の断面図である。

1…クランクシャフト、2…フレキシブルプレート、4…フライホイール、5…ドライブシャフト、6…クラッチ板、7…クラッチカバ、8…皿ばね、10…リリースベアリング(77-ギスロー)、20…スペーサ、20b…周溝、21…Cリング。



ST AVAILABLE COPY